

Fit
AIRIA

PRESS INFORMATION 2002.11.29

HONDA
The Power of Dreams

本田技研工業株式会社 広報部
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

企業広報 TEL(03)5412-1512/FAX(03)5412-1545

商品広報 TEL(03)5412-1514/FAX(03)5412-1515

URL <http://www.honda.co.jp/>



Contents

- 2 | 開発にあたって
- 3 | コンセプト
- 5 | テクノロジー・ダイジェスト
- 7 | **Design**
- 7 | エクステリア
- 9 | インテリア
- 11 | **Space & Utility**
- 11 | パッケージング&シートアレンジ
- 13 | **Dynamics**
- 13 | 走行性能
- 15 | **安全 / 環境**
- 15 | 安全性能
- 16 | 環境性能
- 17 | 装備 / 諸元
- 18 | Made by Global Honda

Hondaは、独自の技術による
「グローバル・スモールプラットフォーム」と
新世代エンジンを核に「SMALL MAX シリーズ」を
展開してまいりました。

高い評価をいただいております [フィット]、[モビリオ]、[モビリオ スパイク]。

それに続く第4弾として、スモールセダン
[Fit ARIA (フィット アリア)] を発表いたします。
〈プレミアムMAX〉を合言葉に、デザイン、ユーティリティ、質感、走行性、
すべてに新しい価値を提案する
Hondaのスモールセダンにどうぞご期待ください。

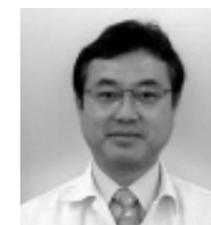
開発にあたって

環境への配慮や交通事情、あるいは経済性の面で、
スモールカーが世界的に注目されている現在。
私たちには、乗用車の基本形である4ドアセダンにおいても、
Hondaならではの技術を核に、従来では考えられなかった革新のスモールセダンをつくりたい、
セダンの価値を、そしてスモールの価値を大切に考えているお客様に、
喜んで選択していただけるクルマを届けたい、という強い思いがありました。

この開発に力を与えたのが、
“Fit”で実現した「グローバル・スモールプラットフォーム」の存在です。
これにより、ボディサイズを大きくすることなく、
圧倒的に広い室内空間と、これまでのセダンでは考えられない
多彩なシートアレンジ、さらに500ℓという広大なトランクスペースを実現。
ボディ剛性を確保しやすいセダンの特長を生かしながら、
ショートノーズ、フォワード・キャビンによって、
革新のパッケージングを体現する、先進フォルムを描き出しました。
そして低・中速域での力強いトルク特性と同時に、すぐれた燃費性能を身につけた
1.3ℓと1.5ℓのi-DSIエンジンなどの先進機構を搭載。
まさに新時代にふさわしい、革新のスモールセダンを生み出したのです。

私たちは〈フィット アリア〉が、
お客様に期待を超える価値を提供するだけでなく、
これからのスモールセダンの新たな指標となるような、
魅力をもつ商品になったのではないかと自負しています。
この開発に関わった全ての方々への感謝を込めて。

開発責任者 川勝 幹人



川勝 幹人 (かわかつ みきひと) (株)本田技術研究所 主任研究員

1983年、本田技研工業(株)入社 シビック、アコードの空調関連の設計を担当後、
3代目インテグラ、6代目北米アコードで内装・電装の設計PLを勤める。
その後、フィットでLPL代行として、設計部門のまとめを担当。
今回フィット アリアでは、LPLとして開発をまとめる。
趣味: キャンプ、ジョギング、読書

圧倒的なユーティリティを独創のフォルムで包んだ、 先進スモールセダン。

スモールセダンの良さはそのままに、いままでにない新たな価値を生み出すために。
革新スモール“Fit”以来、磨きあげてきた独自の
「グローバル・スモールプラットフォーム」をベースに、
これまでのセダンでは考えられなかったスペース・ユーティリティを、
現実のものにできるよう突き詰めていきました。
同時に、3BOXスタイルのなかに、見た瞬間、
存在感を強く印象づける新鮮さを追求。
クラスの常識を打ち破る“先進スモールセダン”の創造をめざしました。

具体的にテーマとして掲げたのは、

- [デザイン] シャープで先進的なエクステリアと、クラスを超えた上質インテリア。
- [スペース&ユーティリティ] ゆとりの室内空間と、セダンの常識を超えた圧倒的なユーティリティ。
- [ダイナミクス] クラストップレベルの低燃費と、しなやかで安定感のある走行性能。
- [安全 / 環境] すぐれた安全性能と、高水準の環境性能。

これらを高次元で達成するために、
デザイン・機能・性能を徹底して磨きあげるとともに、すべての質感を最大限に高め、美しく融合。
乗る人の感性を刺激し、さまざまな生活シーンにおけるセダンの利用価値を飛躍的に高める、
新時代のスモールセダンを完成させました。



先進スモールセダン

Design

シャープで先進的なエクステリアと、クラスを超えた上質インテリア。

Space & Utility

ゆとりの室内空間と、セダンの常識を超えた圧倒的なユーティリティ。

Dynamics

クラストップレベルの低燃費と、しなやかで安定感のある走行性能。

安全

リアルワールドでの
高い安全性能

環境

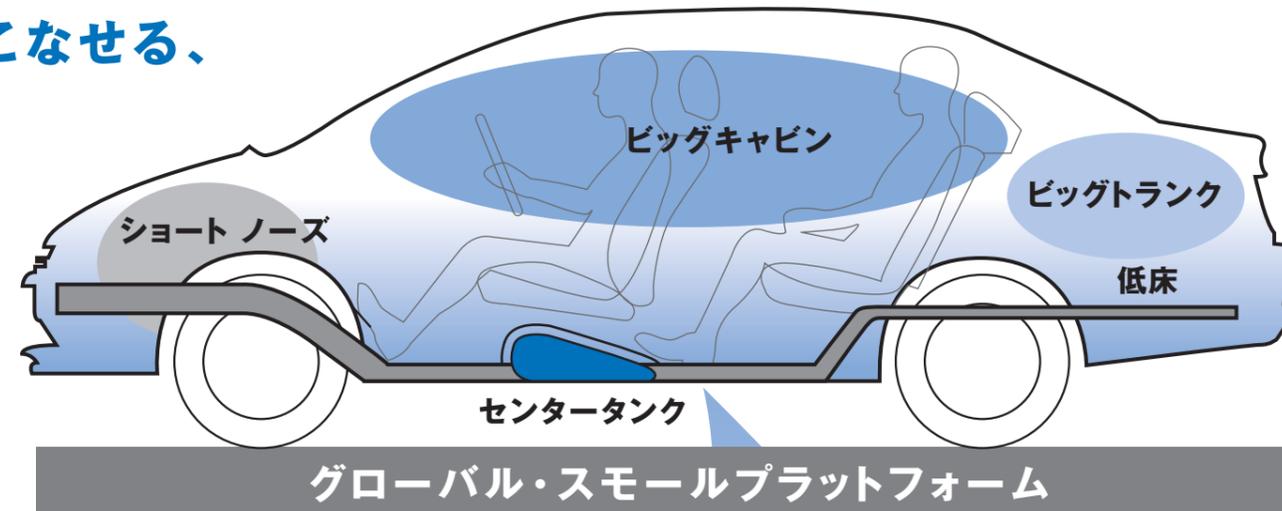
高水準の環境性能

Fit ARIA 誕生

ネーミングの由来: [アリア (ARIA)]とは、オペラの中で歌われる独唱曲のこと。
音楽のようにあらゆる人の心を自由に解き放ち、乗る人が感じるままに、
歌うように走る喜びをもたらすクルマ、という意味を込めたネーミングです。

グローバル・スモールプラットフォームを核に、 斬新で、センスよく、幅広いシーンで使いこなせる、 スモールセダンを実現。

まったく新しいスモールセダン像を求めた「フィット アリア」。
ノーズを伸ばすことなく高水準の衝突安全性能を確保し、
同時に余裕の室内高をもたらす
「グローバル・スモールプラットフォーム」の優位性を
最大限に生かし、広びろとしたキャビンを獲得。
しかも大容量のトランクルームとともに、従来のセダンにはない
多彩なシートアレンジによるスペース・ユティリティを身につけました。
またエクステリア、インテリアは、先進のデザインと高い質感を徹底追求。
ショートノーズ、フォワード・ビッグキャビンの基本設計の上に
磨きをかけることで、独創のフォルムを生み出しました。
さらに、低燃費と力強いトルク特性を誇るi-DSIエンジンや
ホンダマルチマチックS+7スピードモードなどにより、
スモールセダンならではの経済的で、運転しやすく、操る楽しさに充ちた、
しなやかで安定感のある走行性能を実現。
クルマに求められるさまざまな要件において、
クラスを超えた新価値を持つスモールセダンをつくり上げたのです。



Design

先進のエクステリアデザイン“フォワード・ビッグキャビン”。

- ダイナミックな走りを予感させる、力強い下半身と安定感のあるスタンス。
- 個性を主張する、近未来的で端正なマスク。

クラスを超える質感。“モダン・コンフォート・インテリア”。

- 余裕の広さと華やかなベージュ内装が、開放感と明るさに充ちた室内空間を演出。
- 上質なファブリックを用いるとともに、ゆったりとした乗り心地を実現した快適シート。

Space & Utility

スモールセダンの常識を超えたビッグキャビン+ 500ℓ^{*}のビッグトランク、そして多彩なシートアレンジ。

- ショートノーズ&ビッグキャビンの高効率パッケージが、スモールセダンとは思えない広さを実現。
余裕の室内高1,245mm/ひとクラス上のゆとりあるタンデムディスタンス
- 圧倒的な大容量500ℓ^{*}のトランクルーム。
- キャビンとトランクの広さをフルに生かしたULTR ROOM。
ユーティリティ・モード/ロング・モード/ホール・モード/ルーミー・トランク
*VDA方式によるHonda測定値

Dynamics

クラストップレベルの低燃費 20.5km/ℓ^{*} (1.3A)、20.0km/ℓ^{*} (1.5W) を達成。

- 低燃費と、低・中速域のトルク特性にすぐれたi-DSIエンジン (1.3ℓ/1.5ℓ) を搭載。
*FF車 10・15モード走行燃料消費率(国土交通省審査値)

なめらかな走りに、操る楽しさをプラス。 「ホンダマルチマチックS+7スピードモード」。

- ダイレクト&スムーズな加速感とMT車レベルの低燃費をもたらす「ホンダマルチマチックS」を採用。
1.5Wには、さらにマニュアル感覚のシフトチェンジも楽しめる「7スピードモード」を搭載。

しなやかで安定感のある走りと乗り心地、静粛性を生む、 シャシー&ボディ。

安全

G-CON
G-FORCE CONTROL TECHNOLOGY

リアルワールドでの衝突安全性能を追求。

- Gコントロール技術による新・衝突安全設計ボディ。
- 現実の事故実態に基づく、CAR to CAR衝突実験を実施。
- 歩行者傷害軽減ボディ/頭部衝撃保護インテリア/頸部衝撃緩和フロントシートなど充実の安全装備。

環境

Honda e-TECH
ECOLOGY CONSCIOUS TECHNOLOGY

高水準の環境性能を達成。

- 全タイプ「優-低排出ガス」認定を取得。
- 全タイプ平成22年燃費基準に適合。
- リサイクル可能率90%^{*}以上を実現。
*Honda独自の算出基準による

“ フォワード・ビッグキャビン ”をテーマに、 スモールセダンの新しいフォルムを創造。

エクステリアデザインのテーマは“ フォワード・ビッグキャビン ”。
ショートノーズ&ビッグキャビンというグローバル・スモールプラットフォームの
持つ基本ディメンションを生かし、スモールセダンの先進スタイルを追求。
斬新さと力強さを美しく調和させたスタイリッシュなフォルムを完成させました。



Photo:1.5W (FF)

伸びやかでシャープな印象を与える サイドビュー。

前から後ろに美しく流れるプレスラインが、ショートノーズによるフォワードキャビンを強調しながら、コンパクトなボディに伸びやかでシャープな印象を与えています。

仕立ての良さを感じさせる 端正なリアビュー。

精密感・緻密感を演出するシリンダーデザインのリアコンビネーションランプ。そして、ワイドでシャープなクロームメッキガーニッシュなどが、仕立ての良さを感じさせ、洗練された雰囲気醸し出しています。



Photo:1.5W (FF)

個性を主張するフロントビュー。

フロントグリルに配したワイドでシャープなクロームメッキモール。彫りが深く、機能美を感じさせるヘッドライト。美しい曲面を成す造形のなかで、端正にして未来感覚あふれるフェイスが、フィット アリアの個性をきわだたせています。



Photo:1.5W (FF)

ダイナミックな走りを想起させる 力強い下半身と安定感のあるスタンス。

バンパーからつながる張りのある前後フェンダーが、力強い下半身を構成。安定感のあるスタンスとともに、フィット アリアのダイナミックな走りを予感させます。

ショートノーズならではのすぐれた 取り回し性を実現。

最小回転半径4.7m*を実現。ショートノーズのメリットをフルに生かし、狭い道や駐車場などでの、取り回しもラクラクです。



*FF車 4WDは4.9m

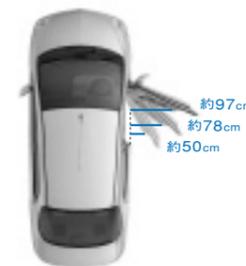
磨きあげられた空力シェイプ。

キャビンからテールにかけて絞り込まれた、流れるようなシルエットとともに、フロントバンパー下端、ドアミラー、フロントのノーズ先端の形状などが、空気抵抗や風切り音の低減に寄与しています。

さまざまなシーンでの使い勝手を考えた、 3段階フロントドア開度。

フロントドアの開度を3段階としました。1段目は約30°、狭い駐車場などでの乗り降りに便利です。2段目は約50°に設定。3段目は約70°の大開度、大きな荷物出し入れなどに便利です。また、リアドアも使いやすい2段階開度(約30°と約70°)としています。

数値はHonda調べ



高効率、低消費電力の ディスチャージヘッドライト HID (ハイ/ロービーム)。

夜間の視認性を飛躍的に向上するディスチャージヘッドライト(ハイ/ロービーム)を1.5Wに標準装備、1.3AにはメーカーオプションのLパッケージとして設定しています。



ハイグレードキー&キーレスエントリー

盗難防止効果の高いハイグレードキーを全タイプに標準装備。クロームメッキ調Hondaエンブレムをあしらいました。また、電波式キーレスエントリーシステム(アンサーバック/ウエルカムランプ機能付)も標準装備しています。



スモールセダンのイメージを超える先進性とクオリティを備えた、モダン・コンフォート・インテリア。

インテリアのデザインコンセプトは、モダン・コンフォート。

メーターまわりのデザインや、オーディオ一体のメタリック調センターパネルなどにより、先進感を演出するとともに、ベージュの濃淡による2トーンの内装色で室内を明るくコーディネート。さらに、シートやドアライニングの質感の高いファブリックなど、空間を高品質感で包み込んでいます。



Photo:1.5W (FF) カットボディによる撮影

1.3Aと1.5W、それぞれに個性を持たせたインテリア。

1.3Aは、センターコンソール、パワーウインドウスイッチ部にシルバーメタリック調のパネルをあしらひ、ソフトタッチなカジュアル柄のファブリックと合わせ、よりスポーティでモダンなイメージに。1.5Wは、木目調のパネル類と、華やかな柄をあしらったシルキータッチのファブリックで、より上質感を演出。それぞれの個性をきわだたせています。また1.5Wには、本革巻ステアリングホイールを装着しています。



Photo:1.5W (FF)



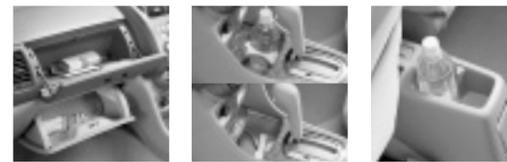
スポーティイメージと視認性を両立したアルミ調リング付き独立3眼メーター。

アルミ調のメーターリングがスポーティで高品質なメカニズムを感じさせる、大口径で見やすい独立3眼メーター。精密感、高品質感あふれる仕様としています。



収納にも独創性を。

インストルメントパネルとセンターコンソールを一体化し、見た目の美しさと機能性の高い収納を両立させました。上下2段のグローブボックスのほか、収納式の間仕切り付きで小物入れとしても使えるフロントカップホルダーにはリッドを設けるなど、室内をすっきり見せる工夫をしています。また後席の方のためのカップホルダーも2個設けています。



デザインはもちろん、機能性にもこだわったシート。

フロントシートには、オデッセイなどに用いられるフレームを採用しています。センター部よりサイド部を硬めにした異硬度パッドをシートバックに採用して、高いホールド性を実現。しっかり感、ゆったり感のあるシートに仕上げています。さらに落ち着きを醸し出す、質感の高いベージュのファブリックを採用。1.5Wのドライバーズシートは、アームレストを装備しています。

後席に乗る人へ、より快適なひとときを。

リアシートは、サイズもゆったり、シートバックの角度も最適化し、心地よいフィット感を実現しています。リアドアライニングも、乗る人をやさしくサポートするラウンドデザイン。広さと、ひとクラス上の快適さを体感できるリア空間に仕上げました。



ナイトクルージングを心地よく楽しむための、インテリア照明。

インテリア照明は、やさしいアンバー色で統一。メーターのリング照明は、高い視認性を持たせながら、よりスポーティさを演出。センターパネルのスイッチ照明に加え、センターコンソールパネルまわりに灯す照明など、夜間のドライブの快適性をサポートします。



インストルメントパネル一体デザインのオーディオシステム。

AM/FMチューナー付CDプレーヤー (時計機能付き)

運転中でも見やすい大型液晶表示、操作しやすい大型スイッチを採用。お手持ちのポータブルMDプレーヤーなどが接続できるAUX (オーディオ外部入力) 端子も備えています。また、ネオジウムマグネットタイプの17cm大型スピーカー (フロント2/リア2) ※を採用。最適なサウンドチューニングができるFIX-イコライジング機能も内蔵しています。

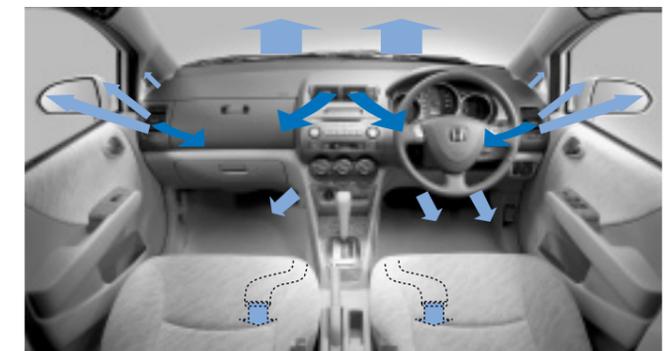


※1.3Aはフロントスピーカーのみ

効果的なダクト配置によって快適性を高めた、空調システム。

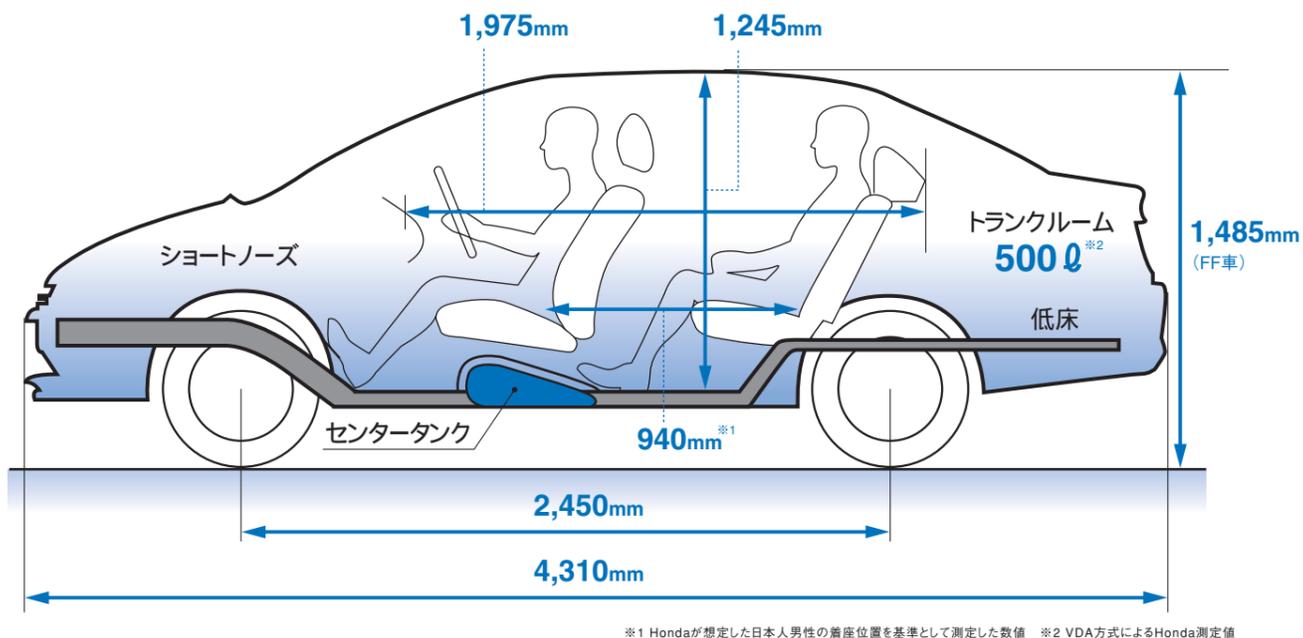
大型コンデンサーを採用し、エアコン性能を向上。ファン騒音も低減しています。また運転席側インストルメントパネル下のシャワーダクトや、リアヒーターダクトなど、全席で快適な空調が得られるよう工夫しています。さらにエアクリーンフィルターを1.5Wに標準装備、1.3Aにディーラーオプション設定。フィルターは、グローブボックスを全開にすることで、簡単に交換可能です。

空調イメージ



コンパクトボディでありながら、圧倒的にゆとりある室内空間。 セダンの常識を超えたユーティリティも同時に実現。

グローバル・スモールプラットフォームにより、
高水準の衝突安全性能を実現しながら、エンジンはじめとするメカニズムをコンパクト化。
圧倒的に広い室内空間を確保したのに加え、
いままでのセダンにはない自在のユーティリティを実現しています。



空間の機能性を大幅に高めた センタータンクレイアウト。

フューエルタンクをフロントシート下に配置したことにより、リア空間の使いやすさを向上。940mm^{*1}のタンデムディスタンスにより、足もとスペースをゆったり確保すると同時に、スモールセダンでありながら、余裕の室内高を実現しています。

開放感あふれる快適な居住空間を実現。

広いガラスエリア、ゆとりのヘッドクリアランスを最大限に生かし、明るく上質感あふれるベージュの内装と合わせ、リラックスできる快適な居住性をもたらしています。



Photo:1.5W (FF) 写真は合成によるものです。

ウルトラ ルーム ULTR ROOM

Utility mode

リアシートのダイブダウン機構により、トランクルームをさらに大きく使える、広くてフラットな空間が生まれます。もちろん、6:4分割可倒式リアシートの左右いずれかをダイブダウンして使用することも可能です。



Long mode

ユーティリティ・モードの状態から助手席を倒せば、長さ2,710mm^{*1}の空間が生まれ、長尺物でも積むことができます。
■写真は助手席のヘッドレストを外した状態。



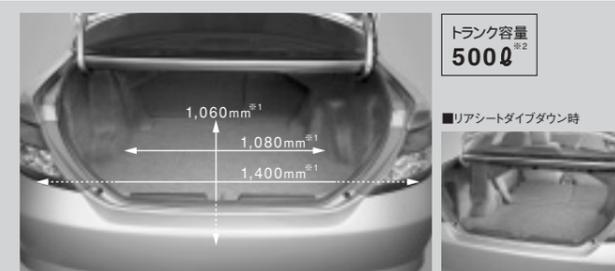
Tall mode

リアシートをチップアップすれば、室内高1,245mmを生かしたもうひとつのラゲッジスペースが出現。観葉植物など背の高いものを積むことができます。もちろん左右片方ずつのアレンジも可能です。



Roomy Trunk

センタータンクレイアウトが生んだゆとりのトランクルームは、500ℓ^{*2}の大容量。9インチゴルフバッグ4個を積んでも余裕の広さです。ショッピングに、ロングドライブに、出かける楽しさを広げてくれます。



●写真はカットボディによる撮影で、合成したものです。小物類は撮影のために用意したものです。安全のため走行の際は荷物をしっかりと固定してください。
※1 Honda測定値 ※2 VDA方式によるHonda測定値

ダイブダウン&チップアップは、素早く簡単。

ダイブダウンはロックを解除してシートバックを前に倒すだけの簡単操作。チップアップも座面をはね上げ、フットをロックするだけです。多様に使える、スペースアレンジを手軽にしました。



クラストップレベルの低燃費20.5km/ℓ (1.3A)、20.0km/ℓ (1.5W)と、 スモールセダンならではの爽快な走りを両立。

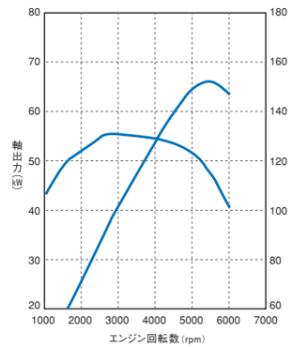
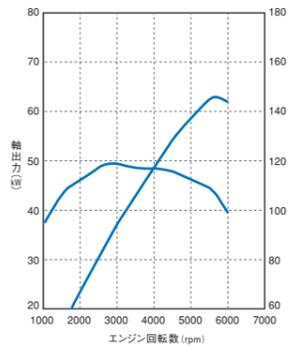
低燃費、フラットでトルクフルな走り、 さらに低排出ガスを実現した、 1.3ℓ & 1.5ℓ i-DSIエンジンを搭載。

スモールセダンならではのスムーズで軽快な、1.3ℓと1.5ℓ、2つのi-DSIエンジンを搭載しました。各部のフリクション低減など、エンジン単体での燃費向上を徹底追求。ホンダマルチマチックS（無段変速AT）との組み合わせにより、1.3Aで20.5km/ℓ*、1.5Wで20.0km/ℓ*という、クラストップレベルの低燃費を達成しています。同時に発進加速時からの力強いトルク性能を獲得。街なかで最も使用頻度の高い低・中回転域で最大トルクを発生するよう設定したことにより、ストレスのない、機敏でスムーズな走りを実現しています。さらに、後方排気システムや、浄化効率の高い斜流コンバータ触媒を採用し、排出ガスをクリーン化しています。

*FF車/10・15モード走行燃料消費率(国土交通省審査値)
4WDは1.3A:19.4km/ℓ、1.5W:18.4km/ℓ。

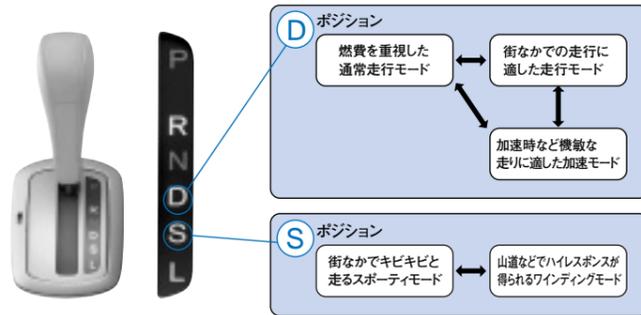


エンジン性能曲線図



スムーズで力強く低燃費な走りをもたらす 新世代CVTに、さらに操る楽しさをプラス。 ホンダマルチマチックS + 7スピードモード

変速ショックがなく、伸びやかな走行フィールが得られ、低燃費化にも大きく貢献する無段変速オートマチックトランスミッション「ホンダマルチマチックS」を採用。フィットアリア専用に変速制御を最適化しました。通常のDポジション、スポーティな走行を可能にするSポジションのそれぞれで、インテリジェントな変速制御を行なうことにより、ドライバーのアクセル操作に応じた走行モードに自動的に切り替えます。さらに1.5Wには、先進機構「7スピードモード」を採用しました。7速の自動切り替えで、エンジンの回転数に即したリニアな加速感とスポーティな減速フィールが味わえる「7速オートシフトモード」。(+)・(-)のシフトスイッチにより、マニュアル感覚のシフト操作が楽しめる「7速マニュアルシフトモード」を設定。スイッチはステアリングコラムに設置し、操作性を高めています。



■「7速オートシフトモード」「7速マニュアルシフトモード」時に、7スピードモードメインスイッチを押すと、「自動無段変速モード」に戻ります。
■メーター内のインジケータ類は機能説明のために点灯・表示させたものです。

全域爽快ハンドリングと、 しなやかで安定感のある乗り心地を実現。

シンプルかつコンパクトな設計でパッケージングとの両立をはかりながら、より爽快で安心感の高いセダンならではの乗り味をもたらす、サスペンションを実現しました。

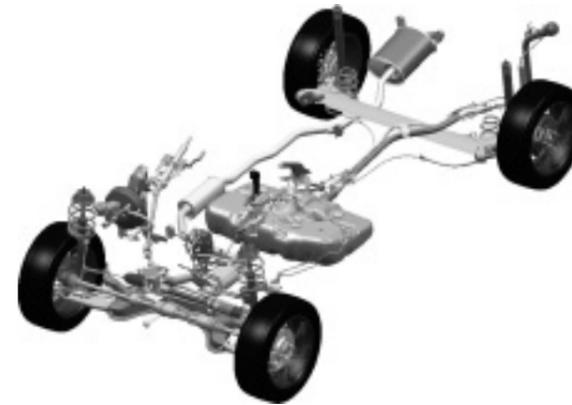
具体的には、フロントにおいて

- ストラット式サスペンションのバネレート、スタビライザーサイズ、ダンパー減衰力を最適化。
- スプリング自体に横力を発生させる、サイドフォースキャンセリングを採用。ダンパーフリクションを低減し、乗り心地を向上。

リアでは

- H型トーションビーム式サスペンションのバネレート、スタビライザーサイズ、ダンパー減衰力、ブッシュ特性を最適化。
- トレッドを拡大し、操縦安定性を向上。

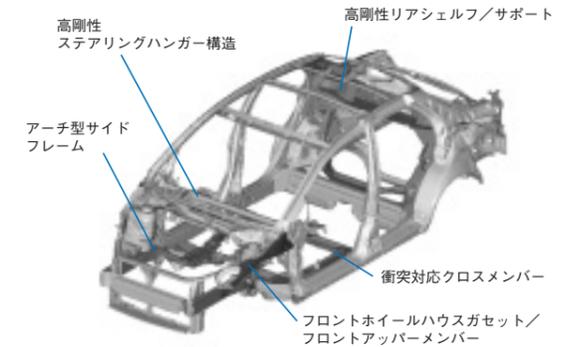
同時に、セダンに不可欠なトランクスペースを広げるため、サスペンションのロアアームをなくして、トランクスペースを低床化。ダンパーとスプリングを別体化することにより、ワイドなトランクスペース幅も確保しました。さらに低速から高速まで操舵フィールにすぐれ、低燃費化にも寄与するEPS（電動パワーステアリング）のギヤレシオを最適化し、全タイプに標準装備。ブレーキについても、低踏力で大きなブレーキ力が得られるよう、ブレーキペダルレシオやマスターパワー特性の最適化を行なっています。また、軽量コンパクトなリアルタイム4WDも全タイプ用意しています。



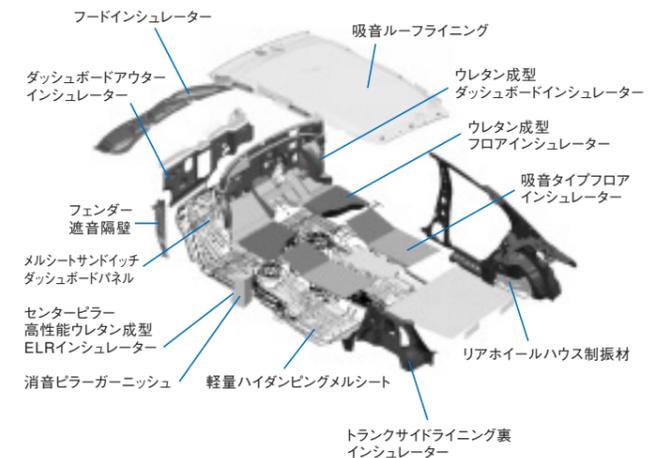
高剛性ボディとともに、 セダンとしての高い静粛性を徹底追求。

3BOXスタイルが本来持つ静粛性に加え、グローバル・スモールプラットフォームを核にさまざまなパネル剛性技術などを採用し、クラスを超えたNVH性能の実現をめざしました。センタータンクレイアウトの合理的な設計が生んだ高剛性フレーム構造により、フロア自体の剛性も向上。同時に十字フロア構造とすることで、フロアのためを低減し、ロードノイズやこもり音を大きく減少しています。ダッシュボードドアパネルには、サンドイッチ構造とクロスパネルを採用し、こもり音を抑制しています。またルーフライニングやフロアインシュレーターに上級車に採用されている防音材を、内装材にも軽量吸音材を用いるなど、高効率な防音処理を施しています。エンジン音や振動、風切り音についても大幅に低減。特にドア開口部には、完全2重シールを採用し、遮音性をいちだんと高めています。

ボディ構造図



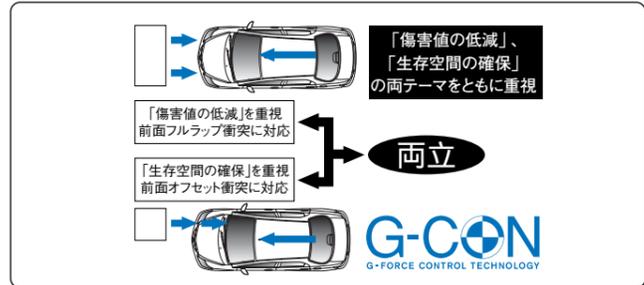
遮音・吸音材配置図



安全 リアルワールドでの事故実態を重視し、衝突安全性能の向上を追求。

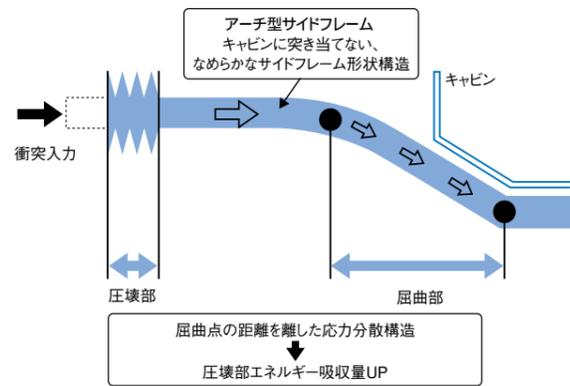
「傷害値の低減」と「生存空間の確保」を高水準で両立する、Honda独自のGコントロール技術。

Hondaは衝突安全において、乗員に対する「傷害値の低減」が課題となる前面フルラップ衝突と、「生存空間の確保」が課題となる前面オフセット衝突の双方を高水準でクリアすることをめざし、独自のGコントロール技術で対応しています。フィット アリアは、世界トップレベルの前面フルラップ衝突55km/h、前面オフセット衝突64km/hに対応する新・衝突安全設計ボディを実現。側面55km/h、後面50km/hの衝突にも対応しています。



Gコントロール技術を進化させた、アーチ型サイドフレームを核とする新エネルギー吸収構造。

前面衝突に対し、フロント部にアーチ型サイドフレームを採用。2つの屈曲点を離すことにより、衝突時の応力を効果的に分散。サイドフレーム自体がほとんどの衝突エネルギーを吸収するため、短いストロークで効果的なエネルギー吸収を実現しました。同時にアーチ形状により、キャビンへの衝突侵入量を大幅に低減しています。

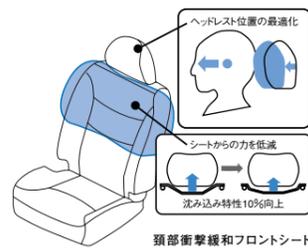


■ 頭部衝撃保護インテリア

室内のルーフサイドや各ビラー内部に衝撃吸収材を採用。衝突時に乗員の頭部への衝撃を緩和します。

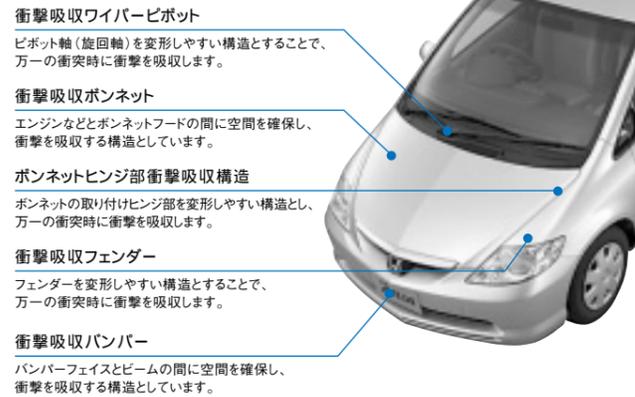
■ 頸部衝撃緩和フロントシートを採用。

後方からの衝突時に身体を沈みこませる特性をシートバックに持たせるとともに、ヘッドレストの取り付け角度を最適化。頸部にかかる負担を低減しています。



■ 衝撃吸収構造を採用した、歩行者傷害軽減ボディ。

歩行者衝突時の傷害軽減をめざした、歩行者傷害軽減ボディ。ダメージを最も受けやすい頭部はもちろん、脚部にまで傷害軽減部位を拡大しています。



■ 充実の安全装備

- 運転席用&助手席用SRSエアバッグシステムを標準装備
- フロント3点式ロードリミッター付プリテンショナーELRシートベルトを標準装備
- EBD（電子制御制動力配分システム）付ABSを標準装備
- ブレーキアシストを標準装備
- ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バー（リア左右席）を標準装備



写真はISO FIX対応チャイルドシート（テザータイプ・ディラーオプション）を装着したものです。

環境 高水準の環境性能を実現。



すべての製品の生産から廃棄まで、さらにHondaがかかわる全活動において高い環境意識と独自の視点が生み出す技術、それがHondaのエコロジー・コンシャス・テクノロジー、e-TECH（イーテック）です。

■ 全タイプ「優-低排出ガス」認定を取得。

i-DSIエンジンの採用や、後方排気システムによる触媒の早期活性化などにより、排出ガス中に含まれる有害物質、CO（一酸化炭素）、HC（炭化水素）、NOx（窒素酸化物）をそれぞれ低減。平成12年排出ガス規制に適合しただけでなく、国土交通省の「優-低排出ガス」認定を取得しています。



「優-低排出ガス」認定車表示マーク
平成12年排出ガス規制のHC、NOxについて、規制値を50%以上下回る優秀な環境性能を達成した車両に与えられます。

■ 全タイプ平成22年燃費基準に適合。

高効率な燃焼技術などにより、1.3Aで20.5km/ℓ*、1.5Wで20.0km/ℓ*と、クラストップレベルの低燃費を達成しています。

*FF車/10・15モード走行燃料消費率（国土交通省審査値）

● フィット アリアは「グリーン税制」の優遇措置を受けることができます。

■ クルマ全体でリサイクル可能率90%以上を実現。

インテリアのインジェクション成形部品のほとんどにリサイクル性にすぐれたオレフィン系樹脂材を使用。樹脂パーツには識別記号を付けて分別を容易にするなど、リサイクル可能率をクルマ全体で90%以上*に高めています。またラジエーター・ヒーターコア、ブレーキパッド摩擦材など、鉛レス化を推進。鉛使用量を1996年レベルの1/3以下に削減しています。

*Honda独自の算出基準による

● 経済産業省「リサイクルイニシアチブ」による業界目標は、2005年末までに1996年レベルの1/3以下を目指すものです。

主要装備 ●は標準装備 ○はLパッケージ セットでメーカーオプション(ご注文時にお申し付けください。)

タイプ	1.5W		1.3A		全タイプ標準装備
	FF	4WD	FF	4WD	
安全装備					
運転席用&助手席用SRSエアバッグシステム	●	●	●	●	●リア3点式ELR/ALR (チャイルドシート固定機構) シートベルト (中央座席は2点式マニュアル)
EBD (電子制御制動力配分システム) 付ABS+ブレーキアシスト	●	●	●	●	●フロントエアバッグ・シートベルトショルダーアンカー
フロント3点式ロードリミッター付プリテンショナー-ELRシートベルト	●	●	●	●	●シートベルト締め忘れ警告灯 (運転席)
頸部衝撃緩和とフロントシート	●	●	●	●	●ドアビーム●室内置燃材 ●チャイルドフルーフ
ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バー(リア左右席)	●	●	●	●	
ハイマウント・ストップランプ	●	●	●	●	
ディスチャージヘッドライト (HID) (ハイ/ロービーム)	●	●	○Lパッケージ	●	
快適装備					
パワーウインドウ (運転席込み込み防止機構付)	●	●	●	●	●電動パワーステアリング (トルク機構付)
パワードアロック	●	●	●	●	●フューエルリッドオープナー ●イグニッションキー抜き忘れ警告ブザー ●ライト消し忘れ警告ブザー
電波式キーレスエントリーシステム (アンサーバック/ウエルカムランプ機能付)	●	●	●	●	
ボディ同色電動格納式リモコンドアミラー	●	●	○Lパッケージ	●	
ボディ同色電動リモコンドアミラー			●	●	
AM/FMチューナー付CDプレーヤー (時計機能付)	●	●	●	●	
AUX (オーディオ外部入力) 端子	●	●	●	●	
フロント2スピーカー	●	●	●	●	
リア2スピーカー	●	●			
オートエアコンディショナー (エアクリンフィルター付)	●	●			
マニュアルエアコンディショナー			●	●	
リアヒーターダクト	●	●	●	●	
インテリア					
シート地		トリコット		トリコット	●タコメーター ●燃費表示機能付 トリップメーター ●燃料残量警告灯 ●ルームランプ ●シガーライター ●チケット&カードホルダー (運転席側サンバイザー) ●フロントドアポケット ●上下2段グローブボックス ●リッド付フロントカフホルダー ●リアカフホルダー ●リアヘッドレスト ●グラブレール
チップアップ&ダイブダウン機構付リアシート(6:4分割可倒式)	●	●	●	●	
本革巻ステアリングホイール	●	●			
独立3速メーター	●	●	●	●	
運転席ハイトアジャスター	●	●	●	●	
運転席アームレスト	●	●			
昼夜切り換え式ルームミラー	●	●			
パニティミラー付サンバイザー	●(運転席側&助手席側)		●(運転席側)		
木目調パネル (センターコンソール、パワーウインドウスイッチパネル)	●	●			
シルバメタリックパネル (センターコンソール、パワーウインドウスイッチパネル)			●	●	
クロームメッキ・インナードアハンドル	●	●			
助手席シートバックポケット (ファスナー式インナーポケット付)	●	●	●	●	
フロントマップランプ	●	●	●	●	
トランクルーム照明	●	●	●	●	
反皿	●(フロント&リア)		●(フロント)		
エクステリア					
ハーフシェイド・フロントウインドウ	●	●			●アンテナ ●ボディ同色バンパー ●ミスト機構付 間欠フロントワイパー ●フロントウインドウウォッシャー (2ノズル・スプレータイプ) ●熱線リニアウインドウデフォグ
全面高熱線吸収UVカットガラス	●	●	●	●	
グリーンプライバシーガラス(リアドア/リアウインドウ)	●	●	○Lパッケージ	●	
ルーフセンターアンテナ	●	●	○Lパッケージ	●	
ボディ同色アウトドアハンドル	●	●	●	●	
ウォッシャー付リアワイパー		●		●	
足まわり					
スチールラジアルタイヤ	175/65R14 82S	175/65R14 82S			●フロント・ベンチレーテッドディスクブレーキ ●フロント/リアスタビライザー
ホイールサイズ	14X5%JJ	14X5%JJ			
フルホイールキャップ	●	●	●	●	

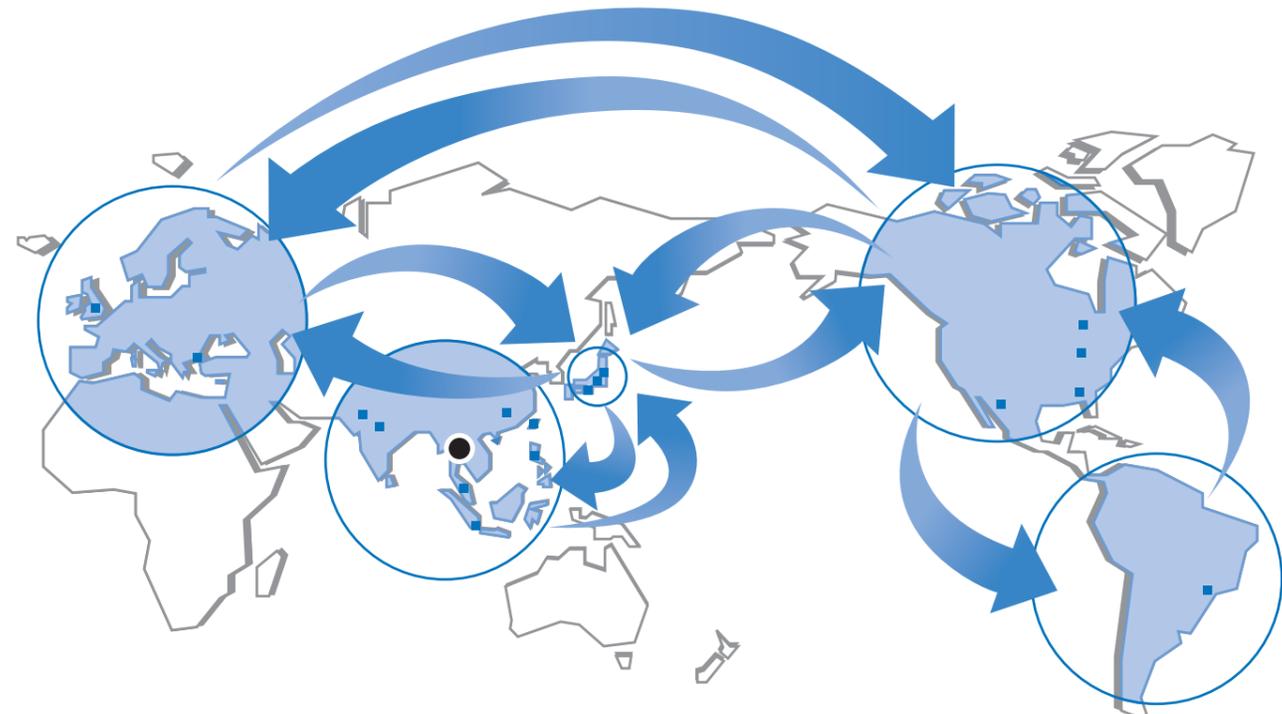
■本仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

主要諸元

タイプ	1.5W		1.3A	
	FF	4WD	FF	4WD
車名・型式	ホンダ・LA-GD8		ホンダ・LA-GD7	
トランスミッション	ホンダマルチマチック2S (自動無段変速機) [プロスマチックシフトモード付] / ホンダマルチマチック2S (自動無段変速機) [プロスマチック]			
全長(m)	4.310			
全幅(m)	1.690			
全高(m)	1.485	1.510	1.485	1.510
ホイールベース(m)	2.450			
トレッド(m) 前/後	1.455/1.455			
最低地上高(m)	0.150			
車両重量(kg)	1,060	1,120	1,040	1,120
乗車定員(名)	5			
客室内寸法(m)長さ/幅/高さ	1.975/1.380/1.245			
エンジン型式	L15A		L13A	
エンジン種類・シリンダー数及び配置	水冷直列4気筒横置			
弁機構	SOHCチェーン駆動 吸気1 排気1			
総排気量(cm³)	1,496		1,339	
内径×行程(mm)	73.0×89.4		73.0×80.0	
圧縮比	10.8			
燃料供給装置形式	電子制御燃料噴射式 (ホンダPGM-FI)			
使用燃料種類	無鉛レギュラーガソリン			
燃料タンク容量(ℓ)	42			
最高出力(kW[PS]/rpm)*	66[90]/5,500		63[86]/5,700	
最大トルク(N・m[kg・m]/rpm)*	131[13.4]/2,700		119[12.1]/2,800	
燃料消費率(km/ℓ) 10・15モード走行 (国土交通省発表)	20.0★	18.4★	20.5★	19.4★
主要燃費向上対策	電動パワーステアリング/自動無段変速機(CVT)			
最小回転半径(m)	4.7	4.9	4.7	4.9
変速比 前進(自動無段変速モード時)	2.367~0.407			
7スピードモード時*	1速	2.152		—
(7速オートシフトモード)	2速	1.456		—
(7速マニュアルシフトモード)	3速	1.119		—
	4速	0.884		—
	5速	0.719		—
	6速	0.601		—
	7速	0.524		—
後退	4.226~2.367			
減速比	5.777	前5.777 後2.533	5.777	前6.285 後2.533
ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式 (パワーステアリング仕様)			
タイヤ (前・後)	175/65R14 82S			
主ブレーキの種類・形式	前	油圧式ベンチレーテッドディスク		
	後	油圧式リーディング・トレーリング		
サスペンション方式	前	マクファーソン式		
	後	車軸式	ド・ディオ式	車軸式
スタビライザー形式(前/後)	トーション・バー式			

※「7スピードモード」時の各変速ポジションにおける代表的な変速比です。
 ■*はネット値です。「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。
 ■新単位として、出力は[PS]から[kW]に、トルクは[kg・m]から[N・m]に切り替わっています。
 ■燃料消費率は、定められた試験条件のもので値です。実際の走行時には、この条件(気象、道路、車両、運転、整備などの状況)が異なってくるので、それに応じて燃料消費率が異なります。
 *フィットアリアは全車グリーン税制(低燃費・低公害車の普及促進優遇税制)の対象となります。
 ■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。
 ■Fit、ARIA、G-COM、PGM-FI、プロスマチック、ホンダマルチマチックは本田技研工業株式会社の登録商標です。
 ■DSI、ULTR ROOM(ウルトラルーム)は本田技研工業株式会社の商標です。
 ■製造事業者: HONDA AUTOMOBILE (THAILAND) CO.,LTD. (製造国: タイ王国) ■輸入販売元: 本田技研工業株式会社

Made by Global Honda



Hondaのグローバルネットワークを活用し、
 部品調達、生産を世界の最適な拠点で行ない、
 最適な市場へ提供する“Made by Global Honda”。
 この考えに基づき、「フィットアリア」は、
 徹底した品質管理システムのもとタイで生産、日本で販売します。



Honda Automobile (Thailand) Co.,Ltd.

設立 2000年12月
 資本金 54億6千万円(約147億円)*
 主な出資率 本田技研工業株式会社 75.9%
 Asian Honda Motor Co.,Ltd. 15.4%
 所在地 タイアユタヤ県
 生産開始 1992年(前身のHonda Cars Mfg. (Thailand) Co.,Ltd.)
 従業員数 約1,900名
 生産能力 70,000台/年(完成車・二直時)
 事業内容 Honda四輪車の生産およびタイ国内卸販売
 ※1パーツ約2.7円(2002年11月14日現在)



